

児童養護施設 愛 童 園

開園以来55年が経過し、苦しく困難な家庭環境から入所した児童の養育にあたってきましたが、この間に社会に巣立った児童及び家庭等に復帰した児童は315名を数えています（平成28年度は6名が退園）。

近年は、虐待を入所理由とする児童の増加が著しく、特に親の離婚、貧困や発達障害などが要因として挙げられます。子どもや家庭をめぐる課題は複雑化、深刻化しており施設処遇においても職員の専門性とスキルの高さが求められています。

今後も、これらの児童に対する心理的ケアの充実を最重要課題として、引き続き心理士や関係機関との連携により、改善に向けた日々の努力を積み重ねてまいります。

◎平成28年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

（1）児童の権利擁護

- ① 職員は施設内外の研修に参加するなど人権感覚を磨き、養育者としての倫理観や責任感を持ち、児童一人ひとりが安心して安全に生活できるよう生活環境の整備や養育に努めた。
- ② 権利侵害により児童の心身の健康的な発達が妨げられないよう、定期的児童集会や意見箱の設置等、児童の最善の利益を目指した養育・支援に取り組んだ。

（2）児童の養育・支援

- ① 在園児童の70.8%が心理療法を必要としており、児童相談所や専門機関とも連携し、職員間で情報を共有しながら児童の心理的ケアに取り組んだ。
- ② 学校と連携して就職情報を提供。児童が希望する職種選択の相談に乗るなどの就職支援を行った。
- ③ 学習ボランティアの協力も得て、学習環境の整備を行い児童の希望する進学校を目指した学習支援に取り組んだ。

◆被虐待児個別対応相談員の活動状況

- 個別対応児童数 22名
- 個別対応年間実施日数 35日
- 1日当たり平均実施時間 60分
- 心理担当職員との連携及び職員会での連絡、情報交換

◆平成29年3月に中学校を卒業した児童の進路状況

児童	区分	性別	進学	就職	進路等の状況
1	中卒	男	○		県立高知農業高校環境土木科

（3）家庭支援の強化

- ① 家族の相談に応じるとともに、児童相談所や家族の居住する市町村・関係機関と連携し、児童と家族の関係調整を行った。
- ② 家庭引き取りに向けた児童と家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰

宅などを行い、地域支援者会議を通して地域での受け皿づくりに努めた。

- ③ 児童相談所や市町村担当職員とのサポートケアを3回実施した。

(4) 事故防止と安全対策

- ① 事故発生対応マニュアル、食中毒・感染症マニュアルに基づいて対応し、インフルエンザ等の流行期には予防措置を徹底した。
- ② 防災対策マニュアルに基づき避難、地震、防災、防火訓練を定期的実施した。

(5) 家庭的養護の推進

- ① 先進施設の視察や研修会へ参加する事により、小規模化への準備を進めている。

(6) 関係機関連携と地域支援

- ① 要保護児童対策地域協議会に参加し、気になる児童や家庭の情報を共有して対策を協議し、実践に努めた。
- ② 児童相談所との連携については、ケース会、面会、通所と児童の支援状況により家庭も含めての情報共有に努めた。
- ③ 児童と夜須地域との交流については、町民運動会や神社の伝統行事、盆踊り等に参加するなどの交流を行った。

◆一時保護委託の状況（受託先：児童相談所）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成28年度	5名	5名	89日
平成27年度	3名	3名	32日
平成26年度	0名	0名	0日

◆子育て支援短期利用事業（受託先：香南市、安芸市）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
平成28年度	2名	3名	14日
平成27年度	2名	2名	10日
平成26年度	3名	7名	7日

(7) 職員の資質と施設運営の向上

- ① 児童の養育全般、虐待、発達障害等、専門分野別研修など県内はもとより全国、中四国で実施される研修に参加し、職員のスキルアップを図った。
- ② 外部講師を招聘し、「性問題行動の理解と支援」の研修を園内で実施した。
- ③ 全職員の参加による第三者評価受審の結果を得たことにより、自己評価を施設運営など課題の振り返りに繋げることが出来た。

◆各種研修会等への参加状況

- 全養協関係 4回／4名
- 中四国養協関係 3回／8名
- 県養協関係 8回／13名
- 各種専門研修 9回／16名

(計24回・延41名 ⇒ 1研修会当たりの受講人数／1.7名)

その他、施設実習終了後「児童の処遇のあり方」について実習生反省会を兼ねた研修会を5・9・2月の年3回全員参加で実施した。

◆年度別児童・職員数

各年度3月31日現在

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
定員 (暫定)	30名 (28名)	30名 (27名)	30名 (29名)	30名 (28名)	30名
在籍児童数	23名	24名	27名	24名	23名
職員数	15名	16名	17名	16名	17名

※職員数：臨時・パートを含む

◆平成28年度 月別児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	24	27	27	27	28	28	27	26	26	26	24	23
入所	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0

◆学年別児童数

平成29年3月31日現在

	就学前		小学校						中学校			高校			そ の 他	計
	3歳 未 満	3歳 以上	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年		
男	1	1	0	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	11
女	1	4	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	2	0	0	12
計	2	5	0	0	2	0	2	1	2	3	1	2	3	0	0	23

◆入所主訴理由別児童数

平成29年3月31日現在

入所理由	件数	構成比	入所理由	件数	構成比

父母の行方不明	0	0.0%	虐待	9	39.1%
父母の離婚	0	0.0%	経済的理由	0	0.0%
父母の拘禁	1	4.4%	精神疾患・入院	0	0.0%
父母の傷病・入院	1	4.4%	措置変更	5	21.7%
父母の養育困難	6	26.0%	その他	1	4.4%
			合計	23	100%

◆平成28年度主要な年間行事

- 4月 新年度ホーム編成、小中学校家庭訪問
- 5月 GW買物ツアー(ｲﾝ)、施設実習(龍馬学園)、第1回中央児相サポートケア
- 6月 第1回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議
- 7月 七夕祭り、第2回中央児相サポートケア
- 8月 手結盆踊り参加、室戸少年自然の家キャンプ
- 9月 施設実習(高知学園短大)、小・中学校合同運動会、高知農業高校体育祭
- 10月 第2回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議
保育・幼稚園合同運動会、夜須町民運動会、防災キャンプ in 夜須Y S P
- 11月 中学校文化祭、夜須八幡棒打ち、百手祭、施設実習(吉備国際大通信制)
- 12月 クリスマス会、ワールドメイト、グリーンコール
競輪選手会もちつき、開園記念日会食会
- 29/1月 お正月祝い、初詣、買物ツアー(ｲﾝ)、
- 2月 節分豆まき、施設実習(高知福祉専門学校)
第3回要保護児童対策地域協議会地域支援者会議
- 3月 施設実習(高知福祉専門学校)、第3回中央児相サポートケア